



週報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ



2017-2018 年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリー：変化をもたらす」
東京本郷ロータリークラブテーマ 「クラブの原点と将来を考え、寛容で傍観者のいないワクワクするクラブにしよう」

創立/平成3年3月13日(1991年)
事務局/〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-9-6-905 電話:03-3238-5350 FAX:03-3238-5352
インターネットホームページ:<http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail:office@t-hongo-rc.gr.jp
例会:毎週水曜日12時30分 例会場:ホテルメトロポリタンエドモント 電話:03-3237-1111
〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8
会長:松下和正 副会長:米倉伸三 会長エレクト:山路敏之 幹事:熊井 寛 会報委員長:栗原浩之

6月27日 第1279回例会

2018年6月27日発行 (No. 1228)

本日の例会 最終夜間例会

点鐘:18:00
於:ホテルメトロポリタンエドモント
2F 万里の間

次回の卓話(7月4日)

「ハンマータッチ」

松下 和正 直前会長
山路 敏之 新会長

6月20日 第1278回例会報告

卓話

「新しい相続の方法～ 民事信託の実例」

星野合同事務所

司法書士 星野 大記 会員
行政書士 清野 健一 様

「内容を録音したデータが事務局にあります」



卓話をされる清野健一様

持ち回り理事会報告

新会員候補者 池田ゆかり氏の入会金を新:東京本郷RC細則 第6条 第1節(6/20例会承認予定)を適用し入会金10万円。そして、平尾泰朗元会員の後任者とみなし1/2である5万円とすることが承認された。
尚、今年度6月27日の入会として準備を進めているが、6月1日退会の平尾元会員の年会費の返還をしないことを鑑み池田氏に2017-18年度下半期年会費は請求しない。
但し、最終例会は会員扱いとなり、最終例会会費1万円は請求することが承認された。

会長報告

1. 米山奨学会より、感謝状が届いていますので発表します。
第2回 米山功労者 表彰 齋藤陽彦会員



幹事報告

1. 日本のロータリー 100 周年記念ピンバッジデザインの応募締切が、1 か月延長され 7 月 31 日 (火) に変わりました。募集の詳細はクラブ事務局へお問い合わせ下さい。
2. 本日、例会終了後に新旧クラブ協議会を行います。3F「光彩の間」へ移動をお願いします。また、来週 27 日は、最終夜間例会となります。点鐘 18:00 会場 2F「万里の間」です。昼間の例会はありませんので、ご留意下さい。

出席

会員数：47 名 欠席出席免除者：4 名 出席数：29 名
 欠席数：14 名 出席率：67.44%
 6 月 6 日修正後出席率：81.40%
 クラブゲスト：清野健一様 (卓話講師)

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

* 近藤博隆会員

本年も、誕生日を元気に迎えられ、お祝いいただき、ありがとうございます。ついつい嬉しいので「駄じゃれ」です。「人生行路は四苦八苦といいますが、八苦 (89) を克服し、次いで苦渋 (90) を超えてニヤニヤ (2 歳) の 92 歳を 6 月 14 日に迎えられました」



「近藤会員 92 才のお誕生日おめでとうございます！」

* 木村敬道会員

初戦、コロンビアに勝利。更なる期待をします。

* 星野大記会員

鈴木さん、先日は楽しいゴルフ、ありがとうございました。おかげさまで、 $39+45=84$ ベスグロ更新もできました！ また、本日は民事信託の卓話をさせて頂きます。よろしくお願い致します！

* 飯塚貞子会員

昨日、私事でとてもびっくりしたことがありました。これは神様からのお誕生日プレゼントかもしれません。皆様にお誕生日をお祝い頂きまして、ありがとうございます。

ニコニコBOX 18,000 円
 累計 1,286,180 円

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY



「新旧クラブ協議会」



「第 4 班 炉辺集会報告」

6/15 金曜日 18:00 より第四班家庭集会和、ホテルエドモント平川にて開催いたしました。

当日出席の最年長者、加藤会員の乾杯で始まりしました。

出席者は加藤、深澤、齋藤、山路、松下会長、柴山リーダー、本郷サブリーダーの七人で、図らずも長く在籍しているメンバーが多くなりました。

今回のテーマは「ブレインストーミングでよろしい」ということで和気あいあい、お互いに歯に衣着せぬ意見交換となり、深澤会員をして「こんなに楽しい会合はなかなかない」と言っていただけたほどに盛り上がりました。

参加された皆様、どうもありがとうございました。

記 柴山

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY



「第 2 班 炉辺会合報告」

メンバー：廣瀬、塙、山田 (幸)、大住、渡辺、星野
 テーマ「会員増員」

○理想的な人数 60 名くらいだが、頭数がすべてではない

○増員の対象として

- ・東洋大学、東大、拓殖、中央などの教授、部活動の先生、講道館、青少年育成との関連でメンバー
- ・同業のちょっと違う方、他クラブの会員の子供、銀行支店長、神社仏閣の神主たち、大学後輩
- ・ホテル周辺の大手企業の役員

○本郷の強みは 例会場のご飯美味しい

○町内会との繋がりを作る

- ・5 月あいあいフェスタの協賛企業
- ・8/6 のエドモンド祭り

記 星野

本日の例会にて、

ロータリー財団寄付 0 名 0 円
 米山特別寄付 1 名 10,000 円

のご寄付をいただきました。
 ありがとうございました。

「来日学生帰国前報告会、 来日学生・第54期派遣学生 合同歓送会」

記 松岡 浩会員

2017-2018 年度来日学生帰国前報告会が、6月17日(日)午前13時30分よりホテルメトロポリタン(東京都豊島区)にて行われました。来日学生一人一人が登壇し、1年間の日本での生活について日本語でスピーチをしました。いずれも大変立派なスピーチで、1年前日本語が全く分からない状態で来日したサマーキャンプのときの様子と比べると、日本語も上達し、人間的にも大きく成長した姿を披露してくれました。スピーチの中から幾つかをご紹介します。

- 日本に行きたかったのが、アプリケーションフォームに10秒で「日本」と書いた。
- 来日前は不安があったが、サマーキャンプで友達ができ、その友達と日本についていろいろ学べてよかった。
- サマーキャンプやジャパンプツアーはインバンドとアウトバンドが接近するチャンス。とても楽しかった。素晴らしい友情が生まれた。
- 6つのホストファミリーに世話になった。正直大変だったが、それぞれの生活スタイルを経験出来てよかった。
- 学校では文化祭や体育祭を楽しんだ。母国(メキシコ)にはそのような学校行事が無いから。
- 雪を初めて見た。スキーも初体験した。
- 一生付き合える友達を得た。
- ホストファミリーに初めて浅草のお寺に連れて行っていただいた。それまで知らなかった静けさに触れ、その雰囲気にも恋をした。
- ジャパンプツアーで一番楽しかったのは鳥取砂丘。子どもの気持ちになった。日本の海は(母国の)ブラジルの海と比べてとても静か、まるで日本の国民みたい。
- 漢字より単語が難しい。例えば、「かみ」は神、紙、髪がある。
- 誕生日の翌日に日本に出発。まるで誕生日プレゼントのようでもうれしかった
- クラブ(部活)に入ると友達ができるからいいよ、とアドバイスされ、それに従った。ほんとうに友達に出会えた。
- 平和ディカッションが良かった。
- 日本での素晴らしい体験を帰国後家族や友達に話すのが楽しみ。
- 和食が大好きになった。
- ステイ先は沖縄だった。沖縄が戦争に巻き込まれ、(沖縄の人が)力をあわせて復興した歴史を知ることができた。
- 友達に(母国の)スペインに行っても良いかと聞かれるととてもうれしい。自分も日本に戻ってきたい。
- 自分の将来のビジョンが見えた。大学では国際関係論を学び、世界をもっと知りたい。
- ロータリーのサポートで留学できた事に感謝しています。
- 留学が私を変えた。これからは、考え方を良くして、新しい私として生きていく。

体験から滲み出る命の言葉で語られるスピーチは実際に聞いていただくのが一番です。

地区青少年交換プログラムは50年に渡り続いて

いる素晴らしく有意義なロータリーの事業です。直接青少年に接し、その成長をサポートし、彼らの好ましい変化のプロセスを間近で

見る事ができる非常に遣り甲斐のある奉仕です。是非一度帰国前報告会にご出席していただきたいと思います。

10人の来日生のスピーチが終わると、緒吉田雅俊ガバナーから「日本と皆さんの国の懸け橋になっていただくことは素晴らしい事だと思います」というご講評をいただきました。

最後に来日生を代表してドイツ D1820 より派遣の Juliane Charlotte Paula STREIT から「立派な日本人になりました。帰国したら日本の文化を母国に伝え、親善大使になることを約束します」との謝辞が述べられ、来日学生帰国前報告会は無事終了しました。その後、同じホテル内の別の会場に場所を移し、来日学生・第54期派遣学生合同歓送会が行われました。6月10日の選考試験をパスした第55期派遣予定学生10名の自己紹介、派遣国への出発日が迫る第54期派遣学生の力強い決意表明が行われ、ローテックスから来日生一人一人に記念品が贈呈されました。お開きになった後も、学生たちは写真を取りあったり、ハグしたり、時間を忘れて別れを惜しんでいる様子が印象的でした。彼らの友情と友好がいつまでも続きますように。

